

フ先フハントスルハ会社ヲ吾々ニ対シ永キ壓迫ノ結
果遂ニ爆發セルニ対シ会社ノ採リタル手段ハ組合ノ
破壊策ナリ吾人ハ決シテ会社ニ對抗スル爲ニ組合ヲ
組織セルニ非ス毎日危険ノ作業ニ従事スルニ不拘安
便ノ賃銀ニ苦シミワ、アルカ爲メニ團結シテ地位ノ
向上ヲ圖ルカモナリ然レモ会社ハ吾情ニ之ヲ一蹴セ
ルハ適法ナリヤ否ヤ諸君ノ御批判ニ訴ヘ飽ク迄初志
ノ貫徹ニ努メントスルモノナリト云フニアリテ何レ
又演説分限ノ爲メニ三分時ニシテ降壇ニ格別ノ感動
ヲ興ヘタル模様ナク最後ニ別記決議文ヲ朗読シ明廿
七日ハ木村陽外四君ノ実行委員ヲ以テ会社ヲ訪問社
長ニ手交スヘク可決セルカ應援弁士ノ所論ハ別記望

月永治山我徳一島上善五郎等ノ演説要旨ト大同小異
ニシテ激動スルニ止マリタルニ島上山我ノ両名ハ爭
議煽動的ノ言辞ヲ弄シタルヲ以テ監査者ヨリ支々中
止ヲ命ジタルカ場内静粛ニ終始シ午後十時四十分迄
事故會セリ以同本部眞林松木ハ市電自治会本部ニ兼
催中ノ別記案東方働地会會議ニ列席シテ會議經過ヲ
報告シ後接ヲ求メタルヲ以テ該會議常委委員ハ満場
一致應援スヘク可決シ高木大倉ニ別記決議文ヲ贈ル
事ニ決シタルヲ以テ出席セル東京印刷工組合大塚貞
二郎ハ代表トシテ該大會ニ出席決議文ヲ朗讀セリ
ニ次該団体應援ノ状況

東部及西村祭花ハ政治研究会負ナル關係上希志留治